

あまが咲

2017

2月

No.33



兵庫県立尼崎総合医療センター

Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

NEW [院内専門センターのご案内]

循環器センター

「小児から成人まで、
幅広い循環器系疾患を
治療しています」



[新たな診療取り組み]

消化器外科医に、複雑かつ高度な 手術手技が要求される肝門部領域胆管がん手術



- <AGMC委員会・部会めぐり> 広報委員会
- スタッフのつぶやき
- セミナーのご案内

新コーナー

院内専門 センターの ご案内

複数の診療科・部門を一つに
まとめ、診療機能を統合させた
当院の《センター》を
ご紹介します。

循環器センター

小児から成人まで、 幅広い循環器系疾患を 治療しています

循環器センターの特徴

循環器センターは、循環器内科・心臓血管外科・小児循環器内科の3診療科よりなり、胎児期からキャリアオーバーした成人に至るすべての先天性心疾患、成人病である狭心症、不整脈、心不全、弁膜症、大動脈瘤、四肢の動脈疾患など、あらゆる年齢層のすべての心疾患に対応できる体制を整えています。また、定期的に合同ハートチームカンファレンスを行い、科の連携を行っています。以下、それぞれの科の概要を紹介します。

組織構成

【循環器内科】

総勢22名で、成人の心臓疾患について、早期診断、早期治療、必要に応じて集中治療を行います。狭心症、不整脈のほか、大動脈瘤、大動脈解離のステントグラフト治療、閉塞性下肢動脈硬化症、大動脈弁狭窄症などのカテーテル治療も行っています。また、心不全、心臓リハビリのチーム医療にも積極的に取り組んでいます。各疾患の責任医を示します。

救急、集中治療 (福原、黒住)

救急は24時間受けており、低体温療法、大動脈内バルーンパンピング、経皮的心肺補助装置などの高度医療を行います。

心血管病変の 早期診断 (宮本)

低被曝冠動脈CT、心エコー、心臓核医学検査などを用います。

心不全の集学的治療 (佐藤)

薬剤治療、非薬物治療、多職種チーム医療などを行います。

心血管病のカテーテル治療 (当麻、宮本、谷口、福原)

下記疾患が治療対象です。
狭心症／心筋梗塞、
閉塞性動脈硬化症、
大動脈瘤／大動脈解離、
大動脈弁狭窄症、
不整脈

不整脈の 集学的治療 (吉谷)

ペースメーカー、
薬剤治療、
アブレーションなどを行います。

心臓リハビリ (谷口)

専門スタッフによるリハビリを行い、
機能改善、予後改善を目指します。

循環器内科

【心臓血管外科】

外科と名がつくとおり、心臓や血管の疾患を外科手術で治療する診療科です。内科は小児と成人が分かれています。外科は当センター発足時から一つの診療科として新生児から超高齢者まで対応しています。

先天性心疾患の外科治療 (藤原、吉澤)

主に新生児から18歳までの先天性心疾患の外科治療を行います。

成人先天性 心疾患の外科治療 (藤原、吉澤)

成人期に問題を
起こした先天性心疾患を
外科的に解決します。

末梢血管疾患及び 腹部大動脈瘤 (岡田、植野)

腹部大動脈及び上下肢の血管に
生じた動脈瘤や動脈硬化性の
狭窄に対する外科治療を行います。

心臓血管外科

循環器内科
科長

佐藤 幸人





心臓血管
外科部長

大野 暢久



心臓血管
外科科長

藤原 慶一



小児循環器
内科科長

坂崎 尚徳

先天性心疾患は藤原慶一が、後天性心疾患は大野暢久が責任医を担当し、その他3名のスタッフと3名の専攻医で24時間365日診療にあたっています。主な対象疾患と診療内容を図に示します。

後天性心疾患の外科治療 (大野、岡田)

狭心症／心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術、弁膜症に対する弁形成術や弁置換術を行います。

低侵襲心臓血管外科手術 (大野)

早期社会復帰を目指して、小さな切開創で行う低侵襲手術(MICS)に積極的に対応しています。心尖部からの経カテーテル大動脈弁移植術(TAVI)は心臓外科で行います。

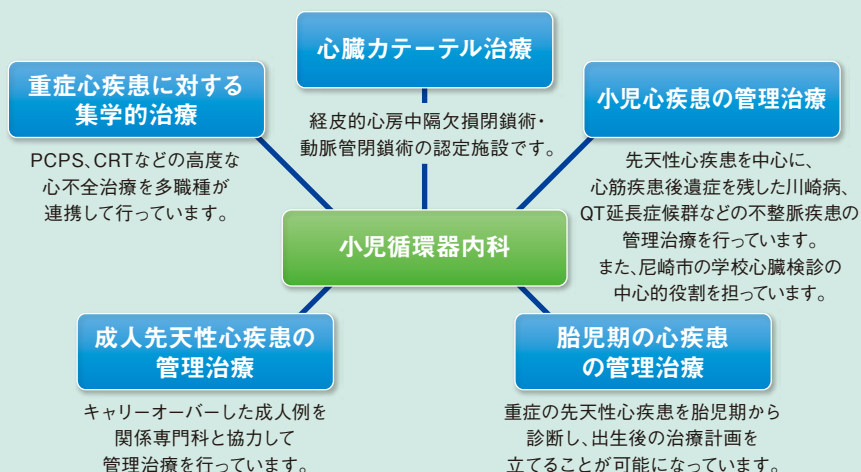
大動脈疾患の外科治療 (大野、岡田)

真性胸部大動脈瘤及び解離性大動脈瘤が主な対象疾患です。

管外科

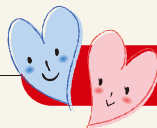
【小児循環器内科】

スタッフは5名で、先天性心疾患を中心に、心筋疾患、不整脈、川崎病後冠動脈障害など小児心疾患の管理治療を行っています。特に重症の先天性心疾患においては、胎児診断を行い、心臓血管外科と連携して、高度な内科的外科的治療を行っています。また、小児期には、有意義な学校生活が送れるよう管理指導を行い、成人期以降は、各疾患特有の諸問題に対し、院内の各専門科と連携しながら、一貫した成育医療を提供しています。



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

当センターでは高水準の最新治療を行っています。また、救急体制・集中治療体制も完備しております(CCU 8床、CHCU 8床、CICU 10床、心臓小児6床)。



消化器外科医に、複雑かつ 高度な手術手技が要求される 肝門部領域胆管がん手術

消化器外科 医長 吉川 潤一(左)／消化器外科 部長 白湯 義晴(右)▶

＋ 消化器がん手術の最高難度手術

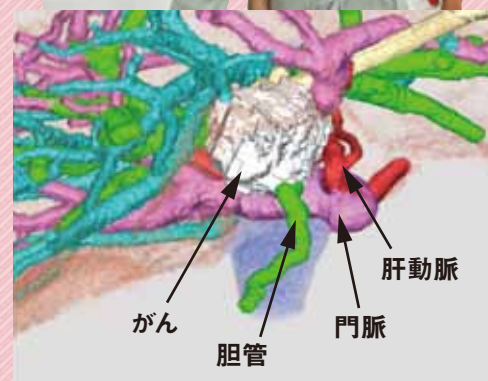
肝門部領域胆管(かんもんぶりょういきたんかん)がんとは肝門部領域、つまり肝臓の入口のあたりにできた胆管がんを指します。肝臓の入口には、胆管、肝動脈、門脈が複雑に入り組んで走行しており、この部位の胆管にがんができた場合、手術は極めて複雑で、高度な技術を要します。手術は、1/3以上の肝臓切除に加えて、胆管をできる限りたくさん切り取るのですが、門脈や肝動脈といった肝臓を栄養する重要な血管を傷つけずに胆管だけを切り取る必要があります、消化器外科手術の最高難易度手術です。特に、がんが肝動脈や門脈に食い込んでいる場合は、**血管合併切除再建**(門脈や肝動脈も切除して、それらの血管を縫い合わせて血流を再開する)を同時に行います。ここまでくると手術には肝移植と同等の技術、場合によってはそれ以上の技術を要します。そのため、血管合併切除再建を伴う肝門部領域胆管がん手術を施行できる施設は、国内でも限られており、大学病院でもできない病院が多々ある中、当センターはその手術を最も得意としています。

＋ 病院の総合力の象徴

肝門部領域胆管がん手術は、多くの職種、科の総合力で行う手術です。手術前は、消化器内科および放射線科と協力して診断し、病棟で看護師、理学療法士と共に術前準備をします。手術では消化器外科が主体となり手術行いますので、消化器外科メンバー全員の協力はもちろんのこと、麻酔科医師、手術室看護師、脳神経外科山田圭介先生(顕微鏡下手術指導)の並々ならぬ協力があります。さらに手術後は、ICUで看護師、薬剤師、理学療法士と共に細やかな術後管理やリハビリを致します。特に複雑で高度な血管の切除再建を行う場合は24時間を超えることもあり、スタッフ全員の理解と協力あってこそこの医療と言えます。それゆえ、総合力がなければ行えない手術であり、『病院機能の高さを表す』と言っても過言ではありません。

＋ 世界一の肝門部領域胆管がん手術施設を目指して

当センターは、肝門部領域胆管がん手術において全国でも名を知られた施設であり、2015年は外科の最大学会である外科学会のシンポジウム講演にて、2016年には臨床外科学会ワークショップ講演において、手術の質や高度さに対して非常に高い評価を受けました。また2017年もすでに外科学会のシンポジウムでの講演が決定しております。このように大きな学会にて特別な発表の場を与えられ、評価を受けている医療機関は、大学病院あるいはがんセンターがほとんどです。近年、西日本でこのような高い水準の発表を継続している施設は当センターのみです。現在、肝門部領域胆管がん手術の年間手術数の日本一かつ世界一の施設は名古屋大学附属病院ですが、今後も更なる努力を続け、いずれは目標である名古屋大学附属病院に肩を並べ最高の最先端医療を皆さんに提供できればと思います。



手術室のメンバー

後列左から：船本看護師、天王寺谷看護師、山田医師、白湯医師
進藤医師、村上医師、木山医師

前列左から：篠田看護師、吉川医師、貴傳名看護師、尾山看護師



GICUのメンバー

左から：福江看護師、吉川医師、谷井看護師、曾我看護師
長谷川看護師、岩崎看護師、前川医師



適切な運営および安全な医療提供を行うために、多職種で運営されている院内委員会・部会です。

広報委員会

忙しい中、院内さまざまな部署からメンバーが集まっていますが、みんなが「広報」ということに興味をもっているため、委員会は和気あいあいとしているのが特徴です。

委員会の構成部署とメンバー

《構成部署》9部門（事務局：給与管理課）

診療部（消化器内科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、小児科、産婦人科）、看護部、放射線部、検査部、薬剤部、情報管理部、リハビリテーション部、総務部、経営企画部

《構成メンバー》17名

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| ● 脳神経外科 兼 地域医療連携センター／山田 圭介(委員長) | ● 消化器内科 兼 地域医療連携センター／齋田 宏 |
| ● 産婦人科／廣瀬 雅哉 | ● 放射線部／柏木 航 |
| ● 形成外科／山脇 吉朗 | ● 検査部／岩下 直美 |
| ● 心臓血管外科／大野 暢久 | ● 薬剤部／橋本 貴史 |
| ● 小児科／宇佐美 郁哉 | ● 検査部 兼 情報管理部／長尾 秀紀 |
| ● 看護部／齋藤 富美代、江本 博子 | ● リハビリテーション部／志波 雅之 |
| | ● 経営企画課／三矢 茂弘 |
| | ● 給与管理課／大谷 啓仁、大野 和樹 |
| | ● 総務課／武藤 有希 |

「病院の情報発信基地」として、正確な情報をスピーディーにわかりやすくお伝えします

特徴と紹介

病院からの情報を皆さんにお伝えする手段としては、以前は広報誌が主流でした。しかし近年、インターネットの普及に伴いさまざまな手段が可能になり、SNSに至っては個々の職員や患者さん自身が社会に向けて情報発信できるようになってきました。このような状況において、個々のプライバシーに配慮しながら、正確な情報を迅速にわかりやすく伝えるため、広報委員会が設置されました。

活動内容、取り組み、目標、開催状況

広報委員会には、ホームページ、SNS、あまが咲だより、院内掲示・紙媒体、メディア対策、動画配信という6つの担当があり、月1回の定例会議では、プロジェクターでホームページ画面や動画等を実際に映しながら、活発な議論をおこなっています。また案件によっては、メール会議をおこない迅速に意思決定を行っています。最速では決定から数時間程度でホームページ画面に反映させることが可能です。最近では、「AGMC studio」という

院内有志による動画作成チームを結成し、動画での情報発信も積極的に行っております。いちどホームページのAGMC Movie Channelもクリックしてみてください。

皆さまへのメッセージ

これからも、さまざまな媒体を通じて、正確な情報を迅速にわかりやすくお伝えしてまいります。ご意見・ご要望等ありましたら遠慮なくお聞かせいただければ幸いです。



スタッフの
つぶやき

病棟保育士ってどんな仕事…?!

初めまして、こんにちは!

病棟保育士 傳馬 冴香／芝 香織

「私たち、病棟保育士とは…」を少しご紹介したいと思います。

私たちは病棟内で働く保育士です。病院には大人だけでなく、子どもたちも入院しており、入院中の子どもたちに、遊びを通して身心のケアを行うのが病棟保育士です。

医師や看護師と情報共有しながら、子どもの発達段階や病状に合わせ絵本の読み聞かせや製作などを行うことにより、子どもたちの入院生活のストレスや不安を和らげ、安心して毎日を過ごせるような環境を提供できるように努めています。プレイルームでは、毎日設定保育の時間を作り、子ども同士が仲良く遊べる時間を設けており、また、病室から出ることのできない子どもたちとはベットサイドで一緒に遊んだりしています。季節の行事や病院ごっこなども医師や看護師と一緒にしています。

入院生活の中であっても、ご家族共に少しでも息抜きできる時間が持てるよう関わっていきたいと思います。



2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方の
ご参加を!第62回市民健康公開講座
「市民すこやかセミナー」

テーマ

『“過活動膀胱”について』
こんなこと、ありませんか?「トイレが近い!」
「急に尿意をもよおす!!」

講師: 県立尼崎総合医療センター

▶泌尿器科

医師 山道 深

看護師 松田由美、笹部いく恵

頻尿・尿意
切迫感

【日 時】平成29年3月14日(火曜日)
午後2時～3時30分

【場 所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費: 無料(予約不要)

★お問い合わせ: 地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000(代表)

第9回
生活習慣病セミナー

テーマ

『あなたの咳、大丈夫?』
その咳、COPD※かも?』

講師: 県立尼崎総合医療センター

▶呼吸器内科 医師 嶋田 雅俊

▶禁煙外来看護師 野原 千鈴

▶栄養士 柳田 理恵

▶理学療法士 正垣 明

※COPD:
慢性閉塞性
肺疾患開始時間の
変更に
注意!

【日 時】平成29年3月22日(水曜日)
午後2時30分～4時30分

【場 所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費: 無料(予約不要)

★お問い合わせ: 外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科)看護師
☎ 06-6480-7000(代表)

編集後記

1年で一番寒い時期になりましたが、皆さんはどうお過ごしでしょうか? 寒いと引きこもりがちになりそうですが、冬にしかできない事をしていれば楽しくすごせるものですよ。今年の冬も雪は少なくなりそうですが、スキー・スノーボード、鍋など冬の楽しみで寒さにまけず、カゼをひかないようにこの冬を乗り切りましょう! (W.K.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索